



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 SECカーボン株式会社
コード番号 5304 URL <http://sec-carbon.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 大谷 民明
(氏名) 森下 宏也

TEL 06-6491-8600

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	14,315	△10.0	510	11.2	605	△32.5	424	△27.5
27年3月期第3四半期	15,912	0.7	459	24.0	897	21.5	585	25.5

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 702百万円 (△31.1%) 27年3月期第3四半期 1,020百万円 (△28.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	10.34	—
27年3月期第3四半期	14.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	40,630	35,081	86.3
27年3月期	42,675	34,789	81.5

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 35,075百万円 27年3月期 34,784百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
28年3月期	—	5.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

28年3月期の配当につきましては、未定とさせていただきます。

3. 平成28年 3月期の連結業績予想(平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,400	△5.7	500	△5.6	610	△34.7	410	△26.8	9.99

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	41,388,682 株	27年3月期	41,388,682 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	335,425 株	27年3月期	333,103 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	41,054,964 株	27年3月期3Q	41,060,084 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では堅調な個人消費や株高により拡大基調を維持しており、欧州におきましても金融緩和による内需下支えやユーロ安を受けた輸出の増加により景気は回復しつつあります。

一方、中国では好調な消費支出により景気は拡大基調にあるものの、成長率の鈍化は否めず、過剰な設備投資の結果、中国国内で供給過剰となった鋼材やアルミ等が大量に輸出されることにより世界的な供給過剰を引き起こしています。

わが国の経済は、企業収益の改善、好調な株式市場、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調が続きました。

このような状況のもと、当社グループ（当社及び連結子会社）では、新規顧客の開拓等による販売量の増加と全社的なコスト削減に努めてまいりました。

しかしながら、当第3四半期連結累計期間の業績は、円安による追い風はあったものの、鋼材市況、アルミ市況が低迷したことで人造黒鉛電極やアルミニウム製錬用カソードブロックの需要が低下し、販売数量の減少により売上高は143億1千5百万円（前年同四半期比10.0%減）となりました。

損益面に関しましては、円安によって採算性が改善したことと全社一丸となってコスト削減に取り組んだ結果、営業利益は5億1千万円（前年同四半期比11.2%増）となりましたが、前年同四半期よりも為替レートが安定しており為替差益が少なかったために経常利益は6億5百万円（前年同四半期比32.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億2千4百万円（前年同四半期比27.5%減）となりました。

なお、製品別の売上状況については、次の通りであります。

- ・アルミニウム製錬用カソードブロックは、円安による売上高嵩上げはあったものの、販売数量の減少により売上高は47億8千3百万円となり、前年同四半期に比べ15.6%の減収となりました。
- ・人造黒鉛電極は、円安による売上高嵩上げはあったものの、対面業界である電炉鋼メーカーの生産減少に伴う販売数量の減少により売上高は63億9千2百万円となり、前年同四半期に比べ1.8%の減収となりました。
- ・特殊炭素製品は、非鉄金属関連の販売数量の増加により売上高は19億2百万円となり、前年同四半期に比べ11.1%の増収となりました。
- ・ファインパウダー及びその他炭素製品は、リチウムイオン二次電池関係の需要家の在庫調整等に伴う販売数量の減少により売上高は12億3千7百万円となり、前年同四半期に比べ38.7%の減収となりました。

なお、上記金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末と比較して20億4千4百万円減少して、406億3千万円となりました。主な増加は、商品及び製品の増加8億6千9百万円、現金及び預金の増加8億3千5百万円および所有株式時価の上昇による投資有価証券の増加4億1千4百万円であり、主な減少は、受取手形及び売掛金の減少31億3千万円および機械装置及び運搬具（純額）の減少8億8千9百万円です。

負債は、前連結会計年度末と比較して23億3千5百万円減少して、55億4千9百万円となりました。主な増加は投資有価証券の時価上昇等による繰延税金負債の増加1億3千8百万円であり、主な減少は、短期借入金の減少14億2千9百万円、未払法人税等の減少2億3千9百万円および未払消費税等の減少等による流動負債その他の減少4億8千5百万円です。

非支配株主持分を含めた純資産は、前連結会計年度末と比較して2億9千1百万円増加して、350億8千1百万円となりました。主な増加は、その他有価証券評価差額金の増加2億6千7百万円です。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の81.5%から86.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は通期予想値と比べ順調に推移しております。しかし、今後の経済情勢については、先行きの見通しを立てにくい状況となっております。

従いまして、現時点では、平成28年3月期の連結業績予想を変更せず、平成27年11月13日に公表した数値といたします。ただし、先行きの見通しが可能となった時点で、修正の必要がある場合は速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

[税金費用の計算]

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

[会計方針の変更]

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,496	4,332
受取手形及び売掛金	7,637	4,507
商品及び製品	1,453	2,323
仕掛品	7,939	7,985
原材料及び貯蔵品	1,062	1,295
その他	163	357
貸倒引当金	△16	△10
流動資産合計	21,737	20,790
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,381	5,179
機械装置及び運搬具(純額)	5,889	5,000
土地	1,273	1,273
建設仮勘定	551	104
その他(純額)	122	124
有形固定資産合計	13,219	11,681
無形固定資産	74	61
投資その他の資産		
投資有価証券	7,525	7,940
その他	127	165
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	7,644	8,097
固定資産合計	20,937	19,840
資産合計	42,675	40,630

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,031	1,919
短期借入金	1,518	88
未払法人税等	295	55
賞与引当金	187	94
その他	1,210	725
流動負債合計	5,243	2,883
固定負債		
長期借入金	44	-
繰延税金負債	1,111	1,249
環境対策引当金	359	359
退職給付に係る負債	1,063	981
その他	64	76
固定負債合計	2,642	2,666
負債合計	7,885	5,549
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,913	5,913
資本剰余金	5,247	5,247
利益剰余金	20,364	20,378
自己株式	△169	△170
株主資本合計	31,355	31,368
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,493	3,761
退職給付に係る調整累計額	△64	△54
その他の包括利益累計額合計	3,428	3,706
非支配株主持分	5	5
純資産合計	34,789	35,081
負債純資産合計	42,675	40,630

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	15,912	14,315
売上原価	13,442	11,817
売上総利益	2,469	2,498
販売費及び一般管理費	2,010	1,988
営業利益	459	510
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	109	126
不動産賃貸料	61	56
為替差益	301	32
雑収入	12	40
営業外収益合計	485	257
営業外費用		
支払利息	12	4
不動産賃貸原価	14	9
減価償却費	3	141
雑支出	16	7
営業外費用合計	46	162
経常利益	897	605
特別利益		
固定資産売却益	0	22
特別利益合計	0	22
特別損失		
固定資産除却損	27	16
特別損失合計	27	16
税金等調整前四半期純利益	870	611
法人税等	284	186
四半期純利益	586	425
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	585	424

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	586	425
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	425	267
退職給付に係る調整額	8	10
その他の包括利益合計	434	277
四半期包括利益	1,020	702
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,019	702
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

当社及び連結子会社は、炭素製品の製造・販売を主な事業とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。